

1. 大学連携

- (ア) 大学コンソーシアム岡山
- (イ) 岡山オルガノン
- (ウ) 倉敷市大学連携講座

2. 産学官連携

- (ア) 国：産学官連携推進会議

- (イ) 医学系大学産学連携ネットワーク（東京医科歯科大学）

- (ウ) 岡山県

- ① 岡山県産学官連携推進会議

- （全体会議，産業戦略本部，産業戦略プロジェクト委員会）

- (ア) 岡山TLO

- ② ものづくり重点4分野における産業クラスター形成に向けた取組

- 1.精密生産技術

- (ア) ミクロものづくり岡山推進協議会

- 2.医療・福祉・健康

- (ア) **メディカルテクノおかやま**

- (イ) ハートフルビジネスおかやま

- 3.環境

- (ア) 中四国環境ビジネスネット

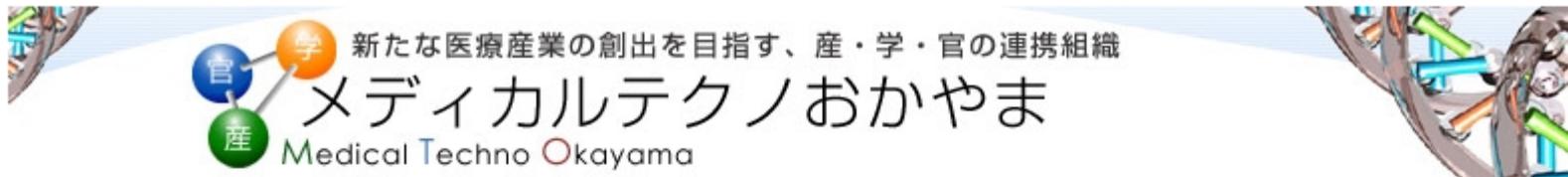
- 4.バイオ

- (ア) セルロース系バイオマス超微粉碎技術研究会

- (イ) おかやまバイオマスプラスチック研究会

- (ウ) おかやま食料産業クラスター協議会

◀ ▶ + http://www.optic.or.jp/medical/



トップページ	組織について	事業内容	活動状況・実績	会員紹介	入会案内
企業訪問レポート	研究者シーズ	新聞記事	メールマガジン	補助金公募情報	パンフレット
交通アクセス		遺伝子治療推進 産学懇話会	関連リンク		

メディカルテクノおかやまからのお知らせ

開催日時	内容	詳細
2010年08月20日(金) 14:00~16:15	第7回グローバルメディカルベンチャー・サロンのご案内	リンク
2010年09月08日(水) 18:00~19:00	第33回メディカルテクノおかやま・サロン	リンク
2010年10月20日(水) 午後より	岡山県医用工学研究会 平成22年度第2回講演会・交流会	

「[メディカルテクノおかやまからのお知らせ](#)」ページから 3 件のアイテムを開催日時順に表示しています。 [もっと見る](#) 》

■メディカルテクノおかやま役員(平成22年5月20日現在)

【顧問】	[産]	中島 博	岡山県経済団体連絡協議会座長	
	[学]	千葉 高三	岡山大学長	
	[学]	福永 仁夫	川崎医科大学学長	
	[官]	石井 正弘	岡山県知事	
【会長】	[学]	公文 裕巳	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授	
【副会長】	[産]	中島 義雄	ナカシマメディカル(株)代表取締役社長	
	[産]	太田 恒孝	(株)林原生物化学研究所主管研究員	
	[学]	大槻 剛巳	川崎医科大学学長補佐	
		安井 昭夫	(社)山陽技術振興会長	
		難波 正義	(財)岡山医学振興会理事長	
	【幹事】	[産]	宇野 恵裕	(株)カワニシホールディングス 理事
		[学]	鈴木 一臣	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授
[学]		榎本 秀一	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授	
[学]		則次 俊郎	岡山大学大学院自然科学研究科教授	
[学]		林 紘三郎	岡山理科大学工学部長・工学研究科長	
[学]		中路 修平	岡山理科大学工学部教授	
[学]		濱田 泰一	岡山県立大学情報工学部教授	
[官]		三宅 昇	岡山県産業労働部長	
[官]		西田 典秀	岡山県工業技術センター所長	
【監事】			島津 義昭	(財)岡山県産業振興財団理事長
		滝沢 寿夫	(株)中国銀行金融営業部長	

■メディカルテクノ おかやま設立趣意書

われわれ人類の繁栄と社会の発展のためには、医療水準の向上が不可欠です。医療を取り巻く環境が大きく変化中、先端的で効果的な医療に対するニーズは一段と高まっており、画期的で安全な医療技術の創出や、それらを支える優れた医薬品・医療機器等の更なる開発が強く求められています。

こうした時代の潮流や課題を見極めた上で、これまでに蓄積された技術、知見をもとに、産学官の連携を通じて、医療技術の高度化を進めながら、活力に満ちた、力強い医療関連産業の育成・発展を図ることが極めて重要となっています。

岡山県には、岡山大学や川崎医科大学をはじめとして、我が国トップレベルの医療技術を誇る大学や多くの医療機関が立地しており、とりわけ、遺伝子医療・再生医療に代表される先端医療は、世界的に見ても高い水準にあります。さらに、県内の理工系大学等においては、医療関連分野での新たな技術開発やシステム構築に関し、広範な研究が重ねられており、また、長年にわたる製造業の発展により、県下全域にもものづくりの優れた技術も蓄積されています。しかし、メディカルに関するこうした高いポテンシャルを有する地域でありながら、地域産業としての医療産業は十分に育っていない現実もあります。

こうした中で、近年、医学、歯学、薬学関連の新たな発見が県内で数多く生まれており、また、医学・歯学・薬学・工学の連携の推進や、新たな治療法の創出・確立のための専門部署が大学内に設置されたり、大学発ベンチャーなど医療関連の事業化の動きも活発化しているところです。

われわれは、この時機を逃さず、本県の特長を活かしながら、新たな医療産業や医療系ベンチャーの創出を目指し、岡山県ならではの医療産業クラスターの形成を進める必要があります。このため、県内大学の医学部、歯学部、薬学部等の医療系ニーズ・シーズと、県内理工系大学の技術シーズや県内ものづくり企業の技術を連携・融合するとともに、地域をあげた事業化推進体制を構築するため、県内の関連企業、大学等の研究者、行政、経済団体、医療機関、産業支援機関等が一体となってメディカルテクノおかやまを設置するものです。

1. 会員の活動状況に関する情報の収集・発信

- (1) 研究者、医療現場、ものづくり企業等のニーズ・シーズ発表会の開催
医療系ニーズ・シーズ、理工系技術シーズ、ものづくり企業の技術情報など、
会員相互の幅広い情報交換と交流機会の場を提供します。
これまでは岡山大学の鹿田キャンパスで開催してきました。
参加費は無料で、会員、非会員問わずどなたでもご参加いただけます。

[>> ニーズ・シーズ発表会、交流会の開催実績はこちら](#)

- (2) コーディネータによる企業訪問・研究室訪問
共同研究のきっかけとなることを願い、コーディネータが会員企業や研究室
を訪問し、得意とする技術やこれまでの実績、共同研究への期待等をレポートします。

[>> 企業訪問、研究室訪問の活動実績はこちら](#)

2. 会員相互の交流機会の提供

- (1) 交流会の開催
ニーズ・シーズ発表会後に開催しています。
会員相互の距離を縮める手助けとなれば幸いです。

[>> ニーズ・シーズ発表会、交流会の開催実績はこちら](#)

- (2) サロンの開催
会員相互の情報交換と交流機会の場を提供します。
ニーズ・シーズ発表会よりも小規模にアットホームな感じで自由に議論してください。

[>> サロンの開催実績はこちら](#)

3. 共同研究の促進

(1) 委託研究の実施

岡山県からの委託を受け、研究テーマを募集し、委託研究を平成20年度まで実施しました。

>> [研究委託事業の実績はこちら](#)

(2) 研究費の獲得支援

国等の競争的資金の獲得支援を行います。お気軽にご相談ください。

>> [補助金公募情報はこちら](#)

4. 大学発医療系ベンチャーの設立支援

産業支援機関等との連携によるベンチャー企業設立支援を行います。

秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

(1) サロンの開催

>> [グローバルメディカルベンチャー・サロンの開催実績はこちら](#)

5. 関連情報の収集・発信

(1) ホームページやメールマガジンを活用した情報発信

講演会開催や補助金公募情報などタイムリーな情報提供を行います。

メールマガジンは月2回程度配信しています。

>> [メールマガジンの配信実績はこちら](#)

(2) 関係機関との連携による関連情報の積極的な収集

岡山県医用工学会をはじめ、様々な団体と連携をとりながら、関連情報の積極的な収集に努めます。

6. その他、本会の設立主旨に沿う事業

岡山県の医療産業の現状と課題

○全国トップレベルの医療研究水準

- ・ 標的医療関連シーズ
 （ 革新的治療薬
 新しい薬剤運搬システム
 先端標識化技術 ）
- ・ 埋め込み式バイオ肝臓 ・ 脾臓
- ・ 人工網膜 など



○医療系大学・医療機関が充実

医療系大学

- ・ 岡山大学
- ・ 川崎医科大学
- ・ 岡山県立大学
- ・ 川崎医療福祉大学
- ・ 岡山理科大学
- ・ 吉備国際大学
- ・ 倉敷芸術科学大学
- ・ 就実大学
- ・ 新見公立短期大学
- ・ 川崎医療短期大学
- ・ 順正短期大学



など

●現状

- ・ 先進的シーズの多くはナノバイオテクノロジーであり、その多くが県外企業に移転
- ・ 医療分野に参入している県内企業は少ない
 岡山県の医薬品生産額は全国で29位(H18)、
 医療機器生産額は全国で21位(H18)

医療先進県にもかかわらず
医療産業は未確立



先端医療・医療機器企業の起業・育成

戦略I 先端医療ベンチャー(MV)の起業推進

○医療先進県の強み

岡山大学等のバイオテクノロジー分野での研究シーズは世界レベル

〈例〉 革新的ながん医療である標的医療関連シーズ
バイオ人工膵臓・肝臓・人工網膜等の再生医療関連シーズ等

●問題点

先進的な研究シーズ(特許)が県外に流出(受け皿となる企業がない)

〈例〉 岡山TLOのメディカル系技術移転件数(26件)のうち77%(20件)が県外企業に移転

優れたシーズを県内で開花させ世界に通用する医療集積を図る。

受け皿となるメディカルベンチャー(MV)の創出・集積を軸に医療産業集積を目指す。

○MV創出・集積による多面的効果

囲い込み効果/県内に受け皿ができることで優れたシーズの県外流出を防止

直接経済効果/単独または県内企業との連携で、規模拡大等の成長・発展も可能

企業誘致効果/MVが呼び水となって関連企業が進出

経済波及効果/県内のものづくり企業群の育成・受注拡大等にも波及

【メディカルテクノおかやまの役割】

- 研究者や臨床現場のニーズの収集と提供
- 医療機器関係団体との連携(メディカルものづくりアライアンス)

メディカルものづくりアライアンス連携団体

▶**メディカルネット岡山**(H19.8.28設立)

事務局：(財)岡山県産業振興財団経営支援部

▶**マイクロものづくり岡山推進協議会**(H16.8.25設立)

事務局：岡山県産業労働部産業振興課技術振興班

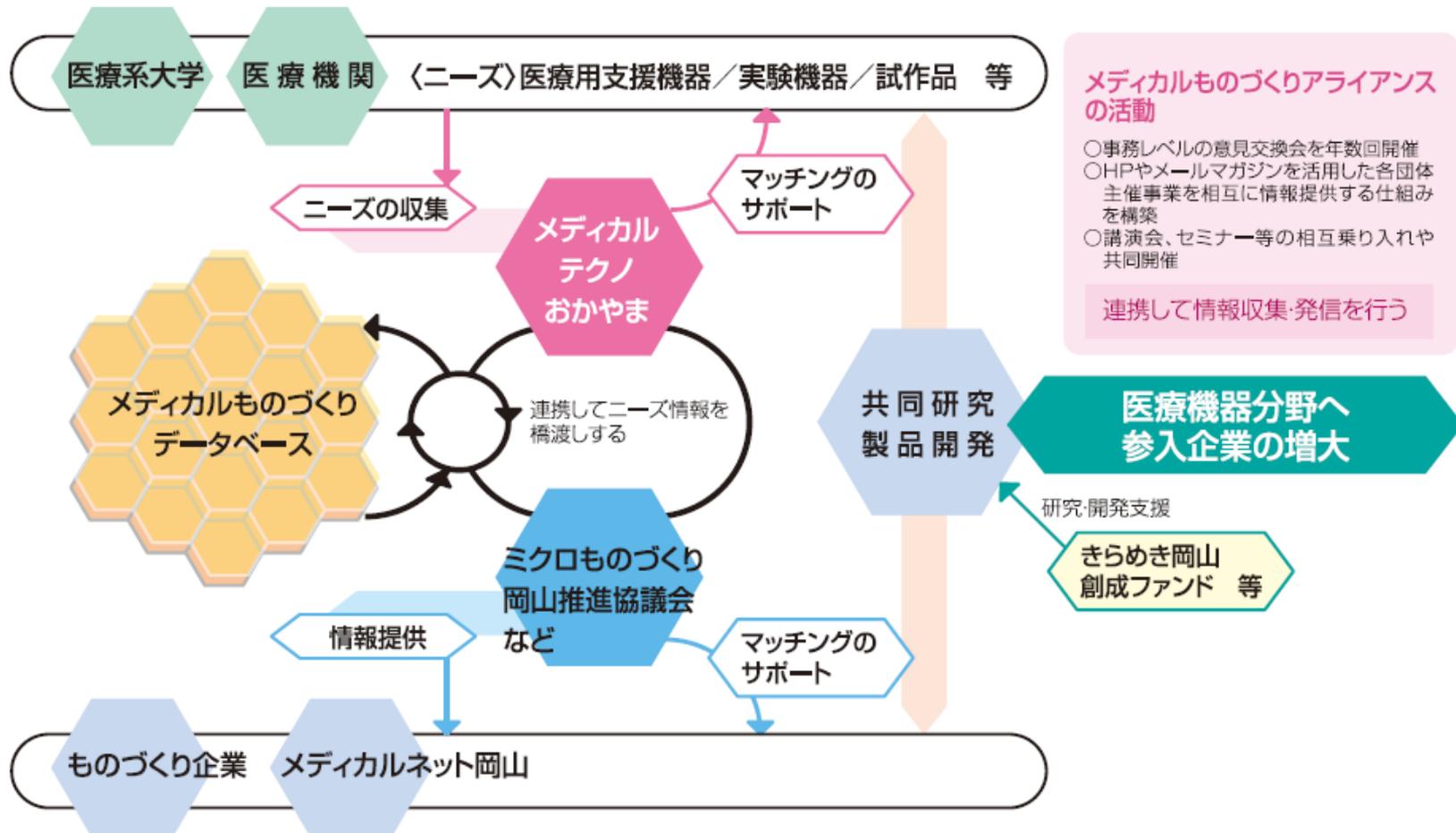
▶**岡山県医用工学研究会**(H14.5.26設立)

事務局：メディカルテクノおかやま



メディカルものづくりマッチング事業

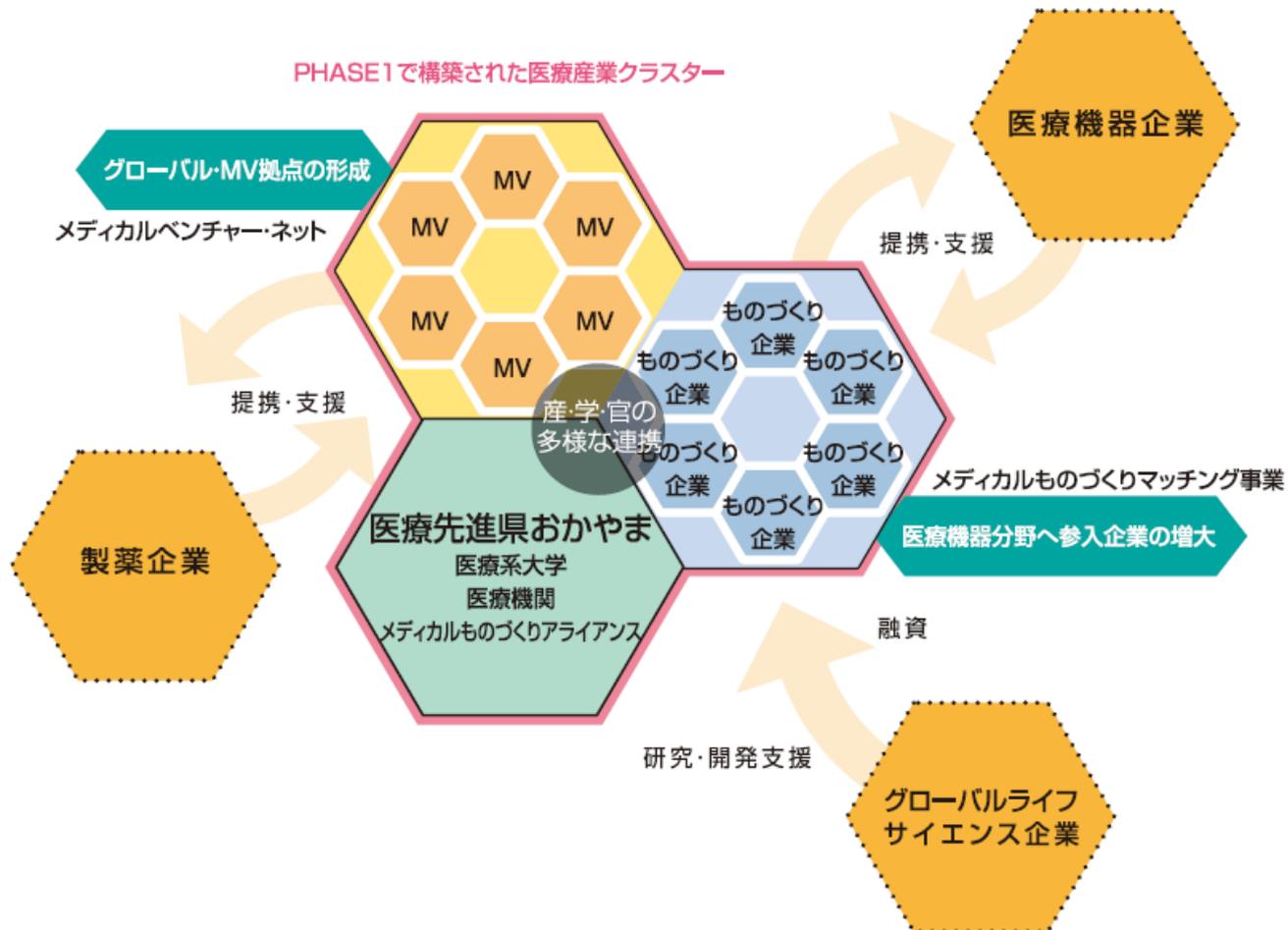
医療系大学や医療機関におけるニーズのうち、県内ものづくり企業が製品化・事業化できるものがあるが、現在これらのニーズを伝える仕組みがない。このため、大学での実験機器や臨床現場でのものづくり関連のニーズをリストアップし、メディカルネット岡山会員企業など県内企業へ分かりやすく情報提供するとともに、これらのニーズを橋渡しするなど、産学共同研究や製品開発を促進する仕組みを構築することにより、メディカルものづくりの振興を図る。





中四国の医療産業拠点としての メディカルテクノバレーの実現

- 特徴あるMV・ものづくり企業のネットワーク化
- メディカル関連の研究開発型企業の誘致と融合



平成22年度第1回セミナー・交流会 (第85回岡山県医用工学研究会)

日時: 平成22年6月15日(火) 13:40~18:45

場所: ◆セミナー: 岡山大学鹿田キャンパス入院棟11階カンファレンス
ルームC

◆交流会: 岡山大学内 れすとらん・すずらん

参加費: セミナー: 無料 交流会: 1,000円(非会員は3,000円)

主催: 岡山県医用工学研究会

共催: メディカルテクノおかやま

後援: 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ広島

岡山大学ナノバイオ標的医療イノベーションセンター(ICONT)

日本生体医工学会中国四国支部

プログラム

1.開会挨拶 13:40~13:45
岡山県医用工学研究会・メディカルテクノおかやま会長 公文 裕巳

2.【話題提供シリーズ】-産学官連携の展望-

①「新規細胞動態解析装置TAXIScan技術の開発と応用」

13:45~14:25

川崎医科大学 生化学教室 准教授 山内 明氏

(株)ECIIは新しい細胞動態解析装置TAXIScan技術を開発した。細胞走化性測定において、従来法では多量の検体を必要で少ない情報しか得られないが、この方法では微量の検体での細胞の画像解析・定量が可能であり格段に情報が多い。走化性のほか、アレルギーで重要なマスト細胞の脱顆粒解析や、好中球・マクロファージの食食反応、NK細胞の細胞傷害活性等の解析も可能であり、多方面に応用できる。



差出人 メディカルテクノおかやま <mto@optic.or.jp> ☆

件名 メディカルテクノおかやま メールマガジン No.106

宛先 メディカルテクノおかやま <medical@optic.or.jp> ☆

メディカルテクノおかやま メールマガジン
No.106 2009/11/12発行

<<http://www.optic.or.jp/medical/>>

このメールマガジンは、メディカルテクノおかやまの会員の皆様、
メディカルテクノおかやま主催の行事にご参加いただいた皆様及び
関係部署の皆様にお送りしています。団体事務局の方や企業担当者
の方々は、それぞれの関係各署へ情報提供をお願いいたします。

目次

- 【1】メディカルテクノおかやまからのご案内
- ・第24回メディカルテクノおかやま・サロンの開催（12月8日）
 - ・林原工場見学会の開催（第25回サロン）（12月9日）
 - ・第26回メディカルテクノおかやま・サロンの開催（1月6日）
 - ・医用工学研究会 平成21年度シンポジウム・交流会の開催（1月28日）
 - ・医用工学研究会見学会の開催（神戸地区）（2月18日）
 - ・平成21年度メディカルベンチャー支援 FS調査希望企業の募集について
- 【2】講演会、セミナー、その他のご案内
- ・福祉・健康分野への展開を目指すロボット技術講演会』の開催
- 【3】補助金公募情報
- ・財団法人テクノエイド協会
平成22年度福祉用具研究開発助成事業募集要のご案内
 - ・科学技術振興機構（JST）の募集案内 ほか

科学技術振興機構（JST）の募集案内 ほか

【1】メディカルテクノおかやまからのご案内

●第24回メディカルテクノおかやま・サロンの開催のご案内

日時：2009年12月8日（火） 18:00～19:00

場所：岡山大学 鹿田キャンパス内 総合教育研究棟 1階

医歯工学先端技術研究開発センター オープンラボラトリーD第5/6区画

http://www.okayama-u.ac.jp/jp/shikata_j.html

参加費：無料。どなたでもご参加いただけます。

講師：岡山大学病院歯周科助教 難波尚子先生

タイトル：「抗菌剤のデリバリーシステム」

講演要旨：歯牙喪失の主たる原因であるう蝕・歯周病などの口腔感染症を予防するためには、歯面上の原因菌の増殖を抑制する必要があります。私達は、天然多糖のプルランにリン酸基を導入したリン酸化プルランを新たに合成し、これを担体として用いるドラッグデリバリーシステム（DDS）を創製しました。本DDSは、抗菌剤を歯面へ特異的に留めることにより歯面上で抗菌効果を発揮します。本研究は、JST若手研究者ベンチャー創出推進事業に採択され、製品化を視野に研究を進めています。

今回のサロンではこれまでの研究と今後の展望についてお話する予定です。